

岡崎市史料叢書編集出版検討会

1 開催日時・場所

令和6年3月1日（金） 14時から15時まで
岡崎市美術博物館会議室

2 出席者

神谷 智 （愛知大学教授）
神田竜也 （元愛知教育大学講師）
加藤重孝 （岡崎地方史研究会幹事）
鈴木テル子 （岡崎古文書研究会幹事）
安藤幸子 （岡崎古文書研究会）

3 説明のため出席した事務局職員の職氏名

館長	前島 豊
副館長・学芸係長	大澤 一実
学芸係 主査	湯谷 翔悟
学芸係 主事	山下 葵
学芸係 事務員	安本 翔音

1 報告

(1) 史料叢書売上数（令和5年4月～同6年2月）

販売場所：美術博物館・文化振興課・瀧山寺・大樹寺）

※家康館は大河ドラマ館として使用のため販売なし

『岡崎町方文書』	7冊（+7）	
『瀧山寺文書』	上：4冊（+2）	下：4冊（+3）
『大樹寺文書』	上：10冊（+9）	下：8冊（+6）
『長嶋家御用日記』	1冊（+1）	
『中根家文書』	上：3冊（+3）	下：3冊（+3）

(2) 「岡崎町方文書」について

『日本歴史』2月号に広告掲載

2 議題

(1) 『本多家文書』の刊行

① 刊行スケジュール（予定）

令和6年	原稿データ化
	レイアウト指示入れ開始
令和7年	レイアウト指示入れ

令和8年 5月 発注（業者決定）
入稿
令和9年 1月末 校了
3月 刊行

② 掲載史料について

岡崎市情報公開条例により非公開。

③ 口絵の候補について

岡崎市情報公開条例により非公開。

④ 巻の名称【別紙】

昨年度までのご意見

- ・～系は巻名としてスッキリしない
- ・～流という表現はなじみがない
- ・忠勝の名前はあった方がよい
- ・氏ではなく家（忠勝家という個別の家を示すため）

案1 本多忠勝家文書

案2 本多中務大輔家文書

案3 忠勝系本多家文書 等

+忠勝系に宗家・嫡流等つけるか

A氏・B氏) ご当主の意向もふまえて決定するのが良い。

事務局) 案1、案2でご当主に確認をとりたい

その後の刊行①本多家家臣文書」の書名も連動

案1 本多忠勝家家臣文書

案2 本多中務大輔家家臣文書

案3 忠勝系本多家家臣文書 等

事務局) 「～家家臣文書」にするか、「～家臣文書」にするか。

A氏) 忠勝だけではなく、忠勝系統の家の家臣の文書なので「～家家臣文書」が適切

(2) その後の刊行

① 本多家家臣文書

都筑家、梶家（家老）、服部家（忠勝譜代）

伊藤家（記録類）、和田家（分限帳）、緒方家（新参家臣）

その他、徳永・吉村・浅野家

中根家は御書など、梶家・都築家および他家の史料を補完できる史料を採録
他機関所蔵の史料も調査して採録

林家（客分）：名古屋市博物館

太地家：明治大学博物館 大藤家：立教大 長尾家：岡崎市内

長坂血鎗九郎家の調査予定

② 町方文書の続編→『岡崎町方文書』に続編作成の旨を記載

③ 三河木綿関係

④ その他

法蔵寺、長嶋家（大庄屋、未整理）、妙源寺、隨念寺、富田家(旗本柴田家)
大部な史料以外の翻刻・公開の方法の検討も必要

A 氏) 今後も引き続き、点数の多い資料群から出していったほうが良い

C 氏) 点数を絞って重要なものだけ載せるやり方は、今の史料叢書のやり方とは異なる。余力があればやっても良いと思うが、写真と史料のセットといったテキスト形式のものを刊行しても面白い。

D 氏) 写真を載せないにしてもCDに焼いて付録としてつけるのを考えてみても良いか

事務局) 引き続き、まとまっているものから継続的に出していきたい

(3) その他

① 凸版印刷との連携【別紙】

凸版の AI-OCR を活用したくずし字のデータ化のみを依頼

精度はまだ高くない、校正が必要

継続的・拡大可能な連携(イベント・展示など)の端緒として実施を試みる

② 翻刻史料のデータ入力

手書きの翻刻をパソコンでデータ化を依頼